

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 734 1174 1106"><tr><td data-bbox="639 734 900 920">1</td><td data-bbox="900 734 1174 920">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 920 900 1106">3</td><td data-bbox="900 920 1174 1106">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0002
0003
0004
0005

3
17
18

部隊原簿

部隊原簿

部隊原簿

第一一九師團

部隊原簿

第一一九師團

4A

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 763 1177 1133"><tr><td data-bbox="639 763 903 949">1</td><td data-bbox="903 763 1177 949">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 949 903 1133">3</td><td data-bbox="903 949 1177 1133">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0005
0008
0009

第四軍第一一九師團部隊名第一一九師團司令部 (一)

通稱號 宰二〇四六一

郵便所名 滿洲五

全般概要		轉入	轉出	人員別		別除		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ヤ」迄の變動	隊別計	滿洲殘留
昭二〇、一〇、一一 編成(2編成)	昭二〇、二、一六 ハインズ第六軍司令部中支 隊跡に移駐	昭二〇、八、九 偵察によりソ軍國境侵入開 戦を知り、海拉爾守備は滿 洲ハ〇旅團に命じ莫安嶺に 移動す	昭二〇、八、九 戰鬥狀態に入る、第一回空 襲のり博古圖に移動	昭二〇、八、二二 空襲を受け六名犠死、新海峯 に移動	昭二〇、八、一六 激戦中の攻撃を受け戦死二 名出せり	昭二〇、八、一七 ソ軍の指示により海拉爾基 に移動	昭二〇、八、二〇 齊々哈爾濱に移送首領部を分 離、齊々一〇大隊を編成(約 一五〇〇名)	昭二〇、一〇、二〇 齊々哈爾濱出發チタ州第六戰 隊所へ向ふ	昭二〇、一〇、二〇 齊々哈爾濱出發チタ州第六戰 隊所へ向ふ					
師團長	中將 鹽津 清則							海拉爾						
參謀長	大佐 園部 精介							莫安嶺						
參謀	大佐 野村 參謀 廣船 參謀													
書記	准尉 新井 秋重郎													
副官														
兵器														
醫務	大佐 喜多村 衛生長 中尉 清水 繁夫													
經理	大佐 庄司													

第一一九師團司令部 (一)

通稱號 幸二〇四六一

郵便所名 滿洲五九〇軍事郵便所

隊長名 (内は先代を示す)	開入 戦時 時	駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 除別計	滿洲殘留	收容所		歸還人員 計	状況不明 者數
		爾拉海	嶺安興						收容所	所入		
師團長 中將 鹽津 清則 參謀長 大佐 園部 精介 野村參謀 廣船參謀 書記 准尉 新井秋重郎						昭二〇一〇、一〇 作業大隊編成 一、三〇〇名 長少佐 松本敏明 一中長 福富中尉 二中長 石渡中尉						
大佐 喜多村 衛生長 中尉 清水 繁夫												

第1、10、11
連隊(S連隊)

二〇、二、二六
ハハハ等六連隊司令部中支
隊田舎に移す

二〇、八、九
管轄下にハハハ連隊地突入
隊を編成す、管轄連隊中に
近ハハハ連隊を合して編成隊
に移す

二〇、八、九
敵斗快砲に入る、第一砲空
襲より増古畑に移す

二〇、八、一
空襲を受け六名爆死、新隊
に移す

二〇、八、一六
敵戦車の攻撃を受け戦死
多田少

二〇、八、一七
ン軍の指示により富拉爾基
に移す

二〇、八、二〇
齊々哈爾濱に移送、傷病部を分
隊作業一〇大隊を編成(約
一五〇〇名)

二〇、一〇、二〇
齊々哈爾濱田舎で州第六砲
隊所へ回す

参謀部
主任 斎藤 隆夫
大主任 堀内 謙介
中主任 藤原 道雄
大佐 新井 秋雪郎
少佐 菅 野 昭

副官部
大佐 新井 秋雪郎
少佐 菅 野 昭

兵器部
大佐 喜多村 衛生長
中尉 清水 繁夫

經理部
大佐 庄司

醫務部
大佐 山本

監査部
主任 斎藤 隆夫
大主任 堀内 謙介
中主任 藤原 道雄
大佐 新井 秋雪郎
少佐 菅 野 昭

第10、10、10
連隊大佐 斎藤 隆夫
大主任 堀内 謙介
中主任 藤原 道雄
大佐 新井 秋雪郎
少佐 菅 野 昭

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="624 732 1161 1104"><tr><td data-bbox="624 732 887 920">1</td><td data-bbox="887 732 1161 920">2</td></tr><tr><td data-bbox="624 920 887 1104">3</td><td data-bbox="887 920 1161 1104">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0010
0011
0012
0013

所 属
第四軍第一一九師團 部隊名 第一一九師團司令部(二)

通稱 號 辛二〇四六一

郵便所名 滿洲

全般概要	轉入 轉出 十九年以降	約600名			人員別	隊名 第一一九師團司令部(二)			別 隊	隊長名 (内は先代を示す) 少佐 團 英敏	開人 戦時 平時 戦時	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソシ迄の變動	隊別計	満洲
隊察視地向里洲滿 (隊部七二八滿)			隊察視地向河三	隊備警境國圖移動奈	本部 不明 一中 二隊名 三隊名 六〇名 突隊 小隊	昭和二〇、八、九日、開港と同時に行動を開始し、治安維持隊地を掃討し、敵艦隊を捕獲した。	昭和二〇、八、九日、開港と同時に河内ハイラル迄退却し、交戦す。	昭和二〇、八、九日、開港と同時に河内ハイラル迄退却し、交戦す。 昭和二〇、一一、二六日、海軍通過し、十二月七日アンカスカ校空所到着									

約600名

隊察視地前里湖滿
(隊部七二八騎)

隊察視地向河三

隊備警我國國移動奈

六〇名
突撃
小隊
三〇名
二班
一班
不明

昭和二〇、八、九日、日軍機と河内ハ
ラニ遊撃隊ノ車と交戦す

三河縣龍泉寺縣立第三中學校
五十年級海軍科以二〇名、八月九日、
各々各員取消

八月十八日停戦
突撃隊
昭和二〇、一、二六
ノ海軍通過十二月七日アンタルカ牧場所
到着

	隊察視地向里洲滿 (隊部七二八滿)	隊察視地向河三	隊備警受國國秘勃奈
			少佐 一 中 一 少 一 大 一 小 一 六〇名
	昭和二〇、八、九日、河内河と向時、ハ、イ、ラ、ニ、テ、後、退、却、シ、テ、交、戦、す。	三河向地視察隊監視哨は、ソ、ノ、ト、テ、被、害、せ、ら、れ、た、る。五、十、名、程、死、亡、し、た。八、月、九、日、包、圍、せ、ら、れ、全、員、戦、死。	三河向地視察隊監視哨は、ソ、ノ、ト、テ、被、害、せ、ら、れ、た、る。五、十、名、程、死、亡、し、た。八、月、九、日、包、圍、せ、ら、れ、全、員、戦、死。
	八月十八日、河内河と向時、ハ、イ、ラ、ニ、テ、後、退、却、シ、テ、交、戦、す。		

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 741 1166 1111"><tr><td data-bbox="635 741 890 925">1</td><td data-bbox="890 741 1166 925">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 925 890 1111">3</td><td data-bbox="890 925 1166 1111">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

少兵第二五三聯隊 (一)

通稱號 満 二〇四六六一

郵便所名

隊長名 (内は先代を不示す)	開人 戦時 平時	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ連の變動	入ソ連人員 除刑計	満洲残留	收容所		歸還人員 満洲より ソ連より	状況不明 者数
								戦時	平時		
大佐 三浦 俊雄 副官 少佐 吉岡		爾拉海 嶺安興		昭三〇、六、二二、ハルビンに移回				クラズノヤルスク ウラウナンデ30			
中尉 西川			昭三〇、八、二〇、ハルビンに於て武解 隊二〇、八、二五、ハルビンに於て武解 同地に於て中隊は三分された	ノイにて第三大隊と行動を共にす	ウラウナンデに於て一二二作業 大隊を編成 (大隊長大尉 前川敏夫)						
中尉 五十嵐 (終戦時まで) 三上 和雄 小隊長 見士 弦本											
少尉 二階堂											
少佐 佐藤與三郎 副官 中尉 石川					ハルビン 現地召集者は召集、残者はハル ビン香坊に收容された						

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

昭二〇、八、一四
昭二〇、八、一五

聯隊編成定員 2851名

本 部	行 幸 班	速 射 砲 中 隊	通 信 中 隊	乘 馬 小 隊	第 一 大 隊 本 部	行 幸 班	第 一 中 隊
少佐 吉野		中尉 西川	(中尉、五十嵐) 中尉(終戦時) 三上 和雄 小隊長 見土 弦本	少尉 二階堂	少佐 佐藤與三郎 副官 中尉 石川		中尉 小坂二郎 三上 三三 三上 三三

ハトにて第三大隊と行動を共にす

昭二〇、八、二〇、チハルに於て式解
(約七〇名)
昭二〇、九、二三、チハル出發行軍に依り
ニ、一〇、ニ、キーン、機動車に依りウ
ラ、一〇、一〇、セ、
ニ、一〇、一〇、ウ、チ、機動歩にて
キ、一〇、一〇、一、

八、一五、現地召集者は名簿、残者はヘル
ビン番坊に收容されたり

第一大隊はヘルビンにて第
二大隊第一三三大隊(牡丹
江)に配属セラレタルに取
容

ウラ、一〇、一〇、セ、
ニ、一〇、一〇、ウ、チ、機動歩にて
キ、一〇、一〇、一、

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="630 728 1165 1097"><tr><td data-bbox="630 728 893 907">1</td><td data-bbox="893 728 1165 907">2</td></tr><tr><td data-bbox="630 907 893 1097">3</td><td data-bbox="893 907 1165 1097">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

8813
0020
0021

第四軍第一一九師團部隊各步兵第二五三聯隊(二)

通稱號 滿二〇四六二二

郵便所名

全般概要						轉入	轉出	員大編編
十九年以降						十九年以降		
別除						隊長名	隊員	駐屯地
隊中第二						(内は差代を示す)	平時	戦時
隊中第三						少尉 堀内		
隊中銃關機第一						(中尉 小島)		
隊小砲兵歩第一						中尉 東崎		
部本隊大二第						中尉 小島		
少佐 吉岡 輝雄								
副官								
少尉 久木野								
戦斗間の状況及損耗						終戦後の人員變動	作業大隊より	入ソノ人員
戦斗中						八八二三 蒙古方面	入ソノ迄の變動	隊別計
八八二〇 ハルビンにて停戦								滿洲残留
收								

兵第二五三聯隊(二)

通稱號

滿三〇四三六六二

郵便所名

長名 内は先代を不 尉 堀内 尉 小島	職 尉	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソノ迄の變動	隊別 計	入ソノ人員	滿洲残留	收容所		死亡	滿洲ソ領 より 計	歸還人員	狀況不明 者 數
									收容所名	所人				
石井			戦斗せず											
小島														
東崎				東崎隊 八、一三 博古園發 八、二〇 ハルビンにて停戦										
吉岡 輝雄														
久木野														

隊中四第	班李行	部本隊大二第	隊小砲兵歩一第	隊中銃關機一第	隊中三第	隊中二第
少尉 鹿下		少佐 吉岡 輝雄 副官 少尉 久木野	少尉 石井	中尉 小島	中尉 東崎	少尉 宗久 (中尉 八海)
海拉爾に残留せし約二〇〇名の三〇名の二二位の報告あり			豊兵衛十七			
					東京隊 八二二 八二三 八二四 八二五 八二六 八二七 八二八	

クラスノヤル
二〇〇名位入
一五〇名位病
歸還

少尉 庵下		少佐 吉岡 輝雄 副官 少尉 久木野	少尉 石井	中尉 小島	中尉 東崎	
海軍省に残留せし約二〇〇名の三分の一位の損害あり			戦死せり			
					東崎 八三三 小島 八二〇 吉岡 八二二 久木野 八二四	
クラスノヤルスク 二〇〇名位入所 一五〇名位病弱者 歸還						

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="619 734 1158 1106"><tr><td data-bbox="619 734 884 920">1</td><td data-bbox="888 734 1158 920">2</td></tr><tr><td data-bbox="619 927 884 1106">3</td><td data-bbox="888 927 1158 1106">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0022
0023
0024
0025

第四軍第一一九師團部隊名 歩兵第二五三聯隊 (三)

通稱號 滿二〇四六六一

郵便所名

全數概要					
轉入 轉出					
十九年以降 十九年以降					
員人制編					
部本隊大三第	隊小砲兵歩二第	隊中銃關機二第	隊中六第	隊中五第	別隊
大尉 福留	少尉 上村	少尉 田島	中尉 正木	中尉 金森	隊長名 (内は先代を示す)
					關入 職員 本 時 戰 時
					駐屯地
					戰鬥間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より 入ソ運の變動 八月二十四日 金森隊の一部 クラスメセル五
					田島隊の一部 チンバル・ラン・ノ・セル ク
					隊別計
					入ソ人員 滿洲殘留

第二大隊より留守隊として
約二割ハイソルに殘留す
編入〇旅團に編入され第
二地隊連隊で戦つた五〇%
戦死者を田島

1107

兵第二五三聯隊 (三)

通稱號 滿二〇四六六二

郵便所名

長名 は先代を示す	職 階	歸入 駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ運の變動	入ソ人員 隊別計	滿洲残留	收容所		歸還人員 計	状況不明 者數
								收容所名	所入死亡		
正木					八月二十三日 金澤隊の二部 クラスノヤルニク五						
田島					四隊の一隊 チンヘル・クワンノクニ ク						
上村											
福齒											

第二大隊より留守隊として約二割ハイタルに殘留す。砲兵八〇旅團に編入され第一地隊陣地で戦斗約五〇%戦死者を出せり。

二〇、三
六〇〇名左滿
現役入隊
二〇、五
八〇〇名左滿
者應召

隊中七第	班季行	部本隊大三第	隊小砲兵歩二第	隊中銃關機二第	隊中六第	隊中五
中尉 松本	大尉 福岡	大尉 福齒	少尉 上村	少尉 田島	中尉 正木	

主力に戦斗せず。四名は死攻に阻む内二名は負傷二名は行方不明となる。

戦斗せず

◎林次雄、愛甲正先行方不明

松本隊
八月十四日開戦
八月十七日ブハト落し十月
十六日ノック
小野大隊総長(一)五〇〇
名(一)〇〇〇名(一)はサタ雄
イナキ山田に入る
五〇〇名ノバヤス隊(二)
五〇〇名死(七)

田島隊の一部
チ、バル、クラスノビルス

中尉 正木	少尉 田島	少尉 上村	大尉 福箇	大尉 福岡	中尉 松本

④ 林、愛甲、正光行方不明

松本除 八月十四日
八月十七日フヘト落し十月
十六日ノトウ
小野大隊編成(一)五〇〇
名(二)〇〇〇名(三)チタ地
イベキ山(四)入る
五〇〇名ノイマス(二
五〇〇名死)

田島の二部
チノル・クラン・クラン
ク

クラヌノルスタ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 734 1168 1106"><tr><td data-bbox="635 734 895 920">1</td><td data-bbox="895 734 1168 920">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 920 895 1106">3</td><td data-bbox="895 920 1168 1106">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0026
0027
0028
0029

所 第四軍第一一九師團部隊名 歩兵第二五三聯隊 (四)

通稱號 滿 二一〇 三六二一

郵便所名

全般概要
轉入
轉出
編制人員
隊別
隊長名
開入
駐屯地
戰鬥の状況及損耗
終戦後の人員變動
作業大隊より
入ソノ送の變
入ソノ人員
滿洲殘留

十九年以降
十九年以降

開入
駐屯地

戰鬥の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソノ送の變

入ソノ人員

滿洲殘留

三〇六
一九師團

隊別	隊長名	開入 時	駐屯地	戰鬥の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソノ送の變	入ソノ人員	滿洲殘留
隊中八第	中尉 小西 教之 (内は先代を承す)			約二五名を失				
隊中九第	中尉 稻垣 (中尉 石指)			戰鬥中				
隊中銃關機三第	中尉 水野			戰鬥中				
隊小砲兵歩三第	少尉 新村 (少尉 堀内)			戰鬥中		八月十七日ソノ送の變		

第二五三聯隊(四)

通稱號

滿二〇四六二

郵便所名

開人 戰鬥 時 長 名 は先代を承す 小西 敏之	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗 約二五名戰死	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソシ迄の變動 入ソシ人員	滿洲殘留	收容所	歸還人員	狀況不明者數
約二五名戰死		戰鬥中						
戰鬥中		約二五名戰死						
八月十七日ヘト着ノテ								
新田 堀内								
水野								
稲垣 石指								

三〇六
一九師団

隊中八第	隊中九第	隊中銃關機三第	隊小砲兵歩三第
	中尉 稲垣 (中尉 石橋)	中尉 永野	少尉 新村 (少尉 堀内)
	昭和十七	昭和十七	昭和十七

八月十七日
ハト浴イダタ

隊小砲兵歩三第

隊中銃關機三第

隊中九第

隊中八第

少尉 新井 (少尉 堀内)

中尉 水野

中尉 稲垣 (中尉 石指)

少尉 新井

中尉 水野

中尉 稲垣

八月十七日アハト派シテタ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 748 1169 1122"><tr><td data-bbox="635 748 895 936">1</td><td data-bbox="895 748 1169 936">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 936 895 1122">3</td><td data-bbox="895 936 1169 1122">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0030
0031
0032
0033

所屬 第四軍第一一九師團部隊名 歩兵第二五四聯隊 (一)
通稱號 滿三〇四八八

郵便所名

全般概要

昭二〇、八、八、四
昭二〇、八、八、四
昭二〇、八、八、四
昭二〇、八、八、四
昭二〇、八、八、四

轉入
十九年以降

轉出
十九年以降

有人訓練

隊長名
(内は先代を示す)
大佐 長澤 太郎
(原田 繁吉)
副官 藤田 賢

戦時
人員

駐屯地
河渡免
圖克列伊

戰鬥間の状況及損耗
昭二〇、八、一、二 伊列克圖で戰鬥遊歩
昭二〇、八、一、四、一六 伊列克圖で戰鬥
昭二〇、八、一、七 停戦

終戦後の人員變動
作業大隊より
入ソノ迄の變動

隊別
計

満洲残留

隊別	本	行	速射砲中隊	聯隊砲中隊	通信中隊	乘馬小隊
隊長名 (内は先代を示す) 大佐 長澤 太郎 (原田 繁吉) 副官 藤田 賢	班	中尉 長江 夢	中尉 北川 清登	有吉	少尉 上田 武	
人員	右	右	右	右	右	右
駐屯地 河渡免 圖克列伊	河渡免 圖克列伊	圖克列伊	圖克列伊 (山虎)	圖克列伊	圖克列伊	圖克列伊
戰鬥間の状況及損耗 昭二〇、八、一、二 伊列克圖で戰鬥遊歩 昭二〇、八、一、四、一六 伊列克圖で戰鬥 昭二〇、八、一、七 停戦		昭二〇、八、一、四、一六 伊列克圖で戰鬥	昭二〇、八、一、七 伊列克圖で戰鬥	昭二〇、八、一、九、 長谷大尉陣地進入後、多古石山林道橋梁 爆破の命により八、一〇出發、一、卓山 陣地着八、一五、歸還(兵二名行方不明) 八、一五、一八戰鬥に参加(初込隊編成) (二名戦死)		
終戦後の人員變動 作業大隊より 入ソノ迄の變動		成田大隊一中隊(渡邊隊) に主力編入	成田大隊一中隊(渡邊隊) に主力編入	成田大隊一中隊(渡邊隊) に主力編入	成田大隊三中队に編入	成田大隊三中队に編入
隊別 計						
満洲残留						

少兵第二五四聯隊 (一)

通稱號 滿二〇四八八

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)	副官	開人	駐屯地	戦闘時間	戦時	戦間期の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	入ソノ人員		滿洲残留	收容所		歸還人員計	状況不明者数
									隊別	計		收容所名	所入死亡		
佐長澤太郎 (原田繁吉)	藤田實		河渡免	河渡免 ↓ 圖克列伊		昭二〇、八、一二 伊列克圖で戦時準備 昭二〇、八、一四、一六 伊列克圖で戦時 昭二〇、八、一七 停戦 本隊と行動を共にす		成田大隊二中队(橋本隊)に編入							
尉長江 涉			右 同	圖克列伊		昭二〇、八、一四、一六 伊列克圖で戦時準備		成田大隊三中队(長隊)に編入							
尉北川 清喜			右 同	右 同 (山虎)		同右 ■大に配属		成田大隊一中隊(渡邊隊)に主力編入							
有吉			右 同	右 同		同右		宮内大隊に編入							
尉上田 武			右 同	地障山卓 ↓ 圖克列伊		昭二〇、八、九、長谷大尉陣地進入後、多古石山林鐵道橋梁爆破の命により八、一〇出發、一一、京山陣地着八、一五〇歸還(兵二名行方不明)八、一五、一八戦時に参加(如込隊編成)(二名戦死)		成田大隊三中队に編入							

班 李 行	部本隊大第一	隊 小 馬 乘	隊 中 信 通	隊 中 砲 隊 聯	隊 中 砲 射 速	班 李 行	部
	少佐 松本	少尉 上田 武	有吉	中尉 北川 清喜	中尉 長江 涉		副官 (原田 繁吉) 藤田 賢
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	河 渡
右 同	圖克列伊	卓山陣地 ↓ 圖克列伊	右 同	右 同 (山虎)	圖克列伊	河 渡 免 ↓ 圖克列伊	圖克列伊
		昭二〇、八、九、 長谷大尉陣地進入後、多古石山林鐵道橋梁 爆破の命により八、一〇出陣八、一一卓山 陣地着八、一五〇露頭(兵二名行方不明) 八、一五〇一八戦斗に参加(切込隊編成) (二名戦死)	同右	昭二〇、八、一四、一六 伊列克圖で戦死す		本部と行動を共にす	昭二〇、八、一七、 伊列克圖で戦死す
	本部及行李は成田大隊五 中隊に編入 (小山田小隊)	成田大隊三中隊に編入	宮内大隊に編入	成田大隊一中隊(渡邊隊) に主力編入		成田大隊三中(長谷)に編入	に編入

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="625 741 1161 1115"><tr><td data-bbox="625 741 890 927">1</td><td data-bbox="890 741 1161 927">2</td></tr><tr><td data-bbox="625 927 890 1115">3</td><td data-bbox="890 927 1161 1115">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

歩兵第二五四聯隊 (一)

通稱號 滿二〇四八八

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)	戦時	駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ人員		滿洲残留	收容所		歸還人員		状況不明者数
		平	戦時			隊別	計		所入	死亡	滿洲より	領より	
少尉 鶴本 又彦		河	渡 免	昭二〇、八、九 山本中尉以下約一二〇名(免渡河渡留隊より)卓山陣地へ出發す(八、一一肉攻〇戦死) 主力は八、一三、一七にシフトで戦闘す	昭二〇、八、九 須藤少尉以下一二〇名(免渡河渡留隊より)卓山陣地へ出發す(須藤少尉戦死)	昭二〇、八、一三、一七にシフトで戦闘す(無傷なり) (A.K.A.)	昭二〇、八、一四 小形陣地(II)に後退し たが途中行方不明多数あり	昭二〇、八、一三、一七にシフトで戦闘す(無傷なり) (A.K.A.)	昭二〇、八、一四 小形陣地(II)に後退し たが途中行方不明多数あり	昭二〇、八、一三、一七にシフトで戦闘す(無傷なり) (A.K.A.)	昭二〇、八、一四 小形陣地(II)に後退し たが途中行方不明多数あり	昭二〇、八、一三、一七にシフトで戦闘す(無傷なり) (A.K.A.)	昭二〇、八、一四 小形陣地(II)に後退し たが途中行方不明多数あり
中尉 大矢 須藤		右	同										
中尉 斎科 鐵治		右	同	河渡免 ↓ 圖克列伊									
中尉 橋本		右	同	圖克列伊									
少尉 井上		右	同	圖克列伊									

二次小杉陣地
(伊列克列伊)
二〇、八、一七
朝暮森、各地隊毎に行動、
武器弾薬を受け逐次入ッテ

班	行	部本隊大二第	隊小砲隊大	隊中銃關機	隊中三第	隊中二第	隊中一第
	中尉 渡部	大尉 長谷	少尉 井上	中尉 橋本	中尉 桑科 鐵治	中尉 大矢 須藤	
	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	河 渡
	圖克列伊	山 卓 (杉小)	右 同	圖克列伊	河 渡 免 ↑ 圖克列伊	右 同	圖克列伊
		昭三〇、八、一三 一〇、二五、二〇、〇〇まで 卓山陣地にて戦斗				昭三〇、八、九 須藤少尉以下二〇名 (免渡河渡寄隊より) 卓山陣地へ出撃 (須藤少尉戦死)	昭三〇、八、一三 (七エングトで戦死) 卓山陣地へ出撃 (八、一、一、一〇戦死) 主力は八、一三 (七エングトで戦死)
						昭三〇、八、一〇 (七エングト陣地で戦死 (無傷なり)) (タヌキ)	
							八、一四 小杉陣地(日)に後退し たが途中行方不明多数あり
							宮内大隊に継入
							成田大隊四中队に継入
							成田大隊二中队に継入
							同右

中尉 須藤 大矢	中尉 桑科 鐵治	中尉 橋本	少尉 井上	大尉 長谷	中尉 渡部
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	河 渡 免 ↓ 圖克列伊	圖克列伊	右 同	山 卓 (杉小)	圖克列伊
主力は八、一三、一七エシクトで戦斗す	照二〇、八、九 須藤少尉以下二〇名 (免渡河渡宿野ト リ) 草山陣地へ出發す (須藤少尉戦死)			照二〇、八、九 一〇、二五、三〇、三〇、三〇、三〇 草山陣地にて戦斗す	
	主力は八、一〇、一七までエシクト陣地で 戦斗 (無傷なり) (ウズマツ)				
					八、一四 小杉陣地(5)に退避し たが途中行方不明多数あり
			同右		
		成田大隊二中隊に編入			

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="628 698 1161 1070"><tr><td data-bbox="628 698 890 887">1</td><td data-bbox="890 698 1161 887">2</td></tr><tr><td data-bbox="628 887 890 1070">3</td><td data-bbox="890 887 1161 1070">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0038
0039
0040
0041

所属

第四軍第二一九師團部隊名 歩兵第二五四聯隊 三

通稱號 滿二〇四八八

郵便所名

全般概要

轉入

轉出

員人制編

別隊

隊長名

戦時

駐屯地

平時

戰鬥間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」迄の變動

入「ソ」人員
隊別計

滿洲残留

昭二〇、八、
一三
戰鬥
第二大隊卓山
陣地増設隊
1/4
MG
出發後右伊列
克圖第二大隊
發射隊は
2/3に北川中
尉の指揮する
北川大隊を編
成ハルビン方
面へ轉送した

隊中四第	隊中五第	隊中六第	隊中銃關機	隊大砲隊大
河渡免	右 同	右 同	右 同	同 右 同
山卓 1/4 ンビルハ (-1/2)	地陣 小 小 杉	山卓 地陣 26號 1/4G	山卓 1/2MG ンビルハ MG (-1/2)	ンビルハ 置 殘 砲
昭二〇、八、一三 ハルビンへ	小杉陣地留守ハ、一四、卓山古領部隊と合 併交換陣地を知らず、ハル方面へ發 送	(中村見士以下4名) 中村見士、最後まで126號陣地で戦闘す 状況不明	1/2MG 卓山陣地へ MG(-I小) bia、 ハルビンへ轉送す ハルビンへ轉送す	主力(九野戦一小隊24名) 昭二〇、八、八 伊列克圖陣地撤収のため
				成田大隊撤収 (總數一、五〇〇名)

步兵第二五四聯隊 (三)

通稱號 滿二〇四八一

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す)	開入		駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ變動	入ソノ人員	滿洲殘留	收容所		歸還人員	状況不明者數
	時員	戰							收容所名	所入死亡		
中尉 小宮路	同	右	河渡免	昭三〇、八、一三 ハルビン	小杉陣地留守八、一四、卓山占領部隊と合併交戦同地で銃撃を知リチ、ハル方面へ退							
中尉 松本 (戰鬥間中隊長代理)	同	右	卓山陣地	昭三〇、八、一三 ハルビン	中村見下、最後まで26號陣地で戦はず、状況不明							
中尉 櫻見	同	右	卓山陣地	昭三〇、八、一三 ハルビン	昭三〇、八、一三、北川大隊に編入							
少佐 成田龜太郎 副官 伊藤大	同	右	ハルビン	昭三〇、八、一三 ハルビン	主方(九野聯一小隊)昭三〇、八、八、伊列克陣地掃蕩のため、田邊八、二六、三〇、一七、昭三〇、八、一三	成田大尉(昭三〇、八、一三)						

第一三
第二大隊
第三大隊
第四大隊
第五大隊
第六大隊
第七大隊
第八大隊
第九大隊
第十大隊
第十一大隊
第十二大隊
第十三大隊
第十四大隊
第十五大隊
第十六大隊
第十七大隊
第十八大隊
第十九大隊
第二十大隊
第二十一大隊
第二十二大隊
第二十三大隊
第二十四大隊
第二十五大隊
第二十六大隊
第二十七大隊
第二十八大隊
第二十九大隊
第三十大隊
第三十一大隊
第三十二大隊
第三十三大隊
第三十四大隊
第三十五大隊
第三十六大隊
第三十七大隊
第三十八大隊
第三十九大隊
第四十大隊
第四十一大隊
第四十二大隊
第四十三大隊
第四十四大隊
第四十五大隊
第四十六大隊
第四十七大隊
第四十八大隊
第四十九大隊
第五十大隊
第五十一大隊
第五十二大隊
第五十三大隊
第五十四大隊
第五十五大隊
第五十六大隊
第五十七大隊
第五十八大隊
第五十九大隊
第六十大隊
第六十一大隊
第六十二大隊
第六十三大隊
第六十四大隊
第六十五大隊
第六十六大隊
第六十七大隊
第六十八大隊
第六十九大隊
第七十大隊
第七十一大隊
第七十二大隊
第七十三大隊
第七十四大隊
第七十五大隊
第七十六大隊
第七十七大隊
第七十八大隊
第七十九大隊
第八十大隊
第八十一大隊
第八十二大隊
第八十三大隊
第八十四大隊
第八十五大隊
第八十六大隊
第八十七大隊
第八十八大隊
第八十九大隊
第九十大隊
第九十一大隊
第九十二大隊
第九十三大隊
第九十四大隊
第九十五大隊
第九十六大隊
第九十七大隊
第九十八大隊
第九十九大隊
第一百大隊

班	李	行	部本隊大第三第	隊小砲隊大	隊中銃關機	隊中六第	隊中五第	隊中四第
			少佐 成田龜太郎 副官 中尉 経幸田三士		中尉 極見	中尉 松本 (中尉 中隊長代理)	中尉 小宮路	
120			25					
右	同		右	同	右	同	右	同
右	同		岡克利伊 (山蛇大)	ンピルハ 置 殘 砲	山 卓 1/2MG ンピルハ MG (-1/2)	山 卓 地 陣 26號 1/2G	地 陣 杉 小	山 卓 ンピルハ (-1/2)
			三七隊本部と行動を共にす		MG(-1小) bIA は二〇、八、一三北川大隊に編入さ れハルビンへ轉送す	1/2MG は卓山陣地へ	中村見士(以下6名) 中村見士(以下6名)まで一第陣地地帯で戦つた 状況不明	昭三〇、八、一三 ハルビンへ
			成田大隊編成 (總數一、五〇〇名)					

